

# 榛原西小だより

文責 校長

**教育目標**  
 人権尊重の精神を基盤として、自ら学び、豊かな生活を創る、心身ともにたくましい子の育成

**めざす児童像**

- ・よく学びよく考える子
- ・自分も人も大切にする子
- ・明るく健康でたくましい子



## 2学期を終えて

— いいところたくさん —

今日、無事に2学期終業式を迎えました。

9月の2学期始業式には、「自分のいいところをたくさん見つけてほしい、そして、お友達のいいところもたくさん見つけて教えてあげてほしい」とお話をしました。運動会、遠足、修学旅行、自然体験学習、マラソン大会などの行事や毎日の学習を通じて、一人一人の良さをたくさん見つけることができました。

おうちでも、子供たちががんばったところ、一人一人の良いところをたくさん見つけて、ほめてやってくださいね。

また、2学期は地域の方々にも学校教育に様々な形で御協力いただきました。子供たちには、地域の人たちはみんなが良い子に育つことを願って、見守り、学校に協力して下さっていますということを終業式で伝えました。



## 音楽は一生の友

— 校内音楽発表会・ピッコロコンチェルト —

12月7日(火)に校内音楽発表会を行い、5、6年生が合奏の発表をしました。曲は「キリマンジャロ(5年)」「風を切って(6年)」「アフリカンシンフォニー(5・6年合同)」。2学期初めから練習を重ねてきました。

5、6年生は緊張の面持ちでしたが、高学年らしく息を合わせた素晴らしい演奏で、下級生は「高学年になるとあんなことができるんだ」とあこがれの気持ちで聴いていました。

また、12月13日(月)のお昼休みには、4年生のピッコロコンチェルトを行いました。リコーダー演奏「オーラリー」と合奏「茶色の小びん」を聴いて、みんなで楽しいひと時を過ごしました。



音楽はコミュニケーション。一緒に歌い、演奏し、また、聴き、踊って、楽しみを共有することで、心を豊かにするものです。音楽を一生の友として、心豊かな人になれるよう、音楽教育、音楽行事に取り組んでいます。

## スポーツタイム

— みんなで体を動かす —

11月はマラソン大会に向けた駆け足のため中断していたスポーツタイムを12月に入って再開しました。毎週金曜日、朝の冷たい空気の中、元気に運動場に飛び出してみんなで体を動かします。

縦割り班で協力し、ボールパスなど簡単な運動をして、それぞれの記録(制限時間内の回数)を伸ばしていきました。

上級生がするのを見ながら、様々な動きを身に付けることをねらって続けています。



### 1月の行事予定

日	曜	行 事
7	木	第3学期始業式 分団会 下校指導
11	火	給食開始
18	火	Sカウンセラー来校日
26	水	委員会活動
27	木	新1年生入学説明会 体験入学

### 諸費引落しのお願い

1月の諸費と給食費の引落日は、1月28日(金)です。口座の残高確認をよろしくお願いいたします。

11月24日(水)の学校保健委員会は、なら情報セキュリティ総合研究所の中野徹先生をお招きして「ネット・スマホ安心安全講座」を行いました。

人類の歴史の始まりを石器時代といいます。石器とは石の刃物。人類は刃物を発明したことで文明を手に入れたのです。現代でも私たちの暮らしは衣食住すべてにわたって刃物なしには一日たりとも成り立ちません。しかし、一方で刃物は人を傷つける武器にもなります。正しく刃物を使うためには教育が必要なのです。

ネットやスマホなど情報システムについても同じことが言えると考えます。正しく使えば暮らしを便利に豊かにし、人類の文明をさらに進化させる利器になりますが、間違えて使えば人を傷つけ、また自分が傷つけられる武器になってしまいます。

講座には学校職員と保護者が参加し、情報機器を使うことで起こり得る様々な危険を知り、子供たちを守るための方法を教えていただきました。

GIGAスクールが始まり、児童は一人一台のタブレット端末を使っています。家庭や社会生活でもスマホやパソコン端末はなくてはならないものになっています。しかも技術は日進月歩。社会の変化も急速です。子供たちにとって、目や耳や手や体を使って実際に体験することの大切さは変わりませんが、情報機器を効率的に使えば学習効果を高めることができます。

それと同時に、正しく使うための情報モラル教育についても常に見直しをしながら進めていきます。

## 赤い羽根共同募金

児童会活動として11月に赤い羽根共同募金に取り組み、集まったお金を12月13日(月)に宇陀市社会福祉協議会の方に来ていただいてお渡しをしました。

私たちの町で助けを必要とする人たちのために使われます。



## 食育の大切さと学校給食

英語の「カンパニー(なかま、会社)」という言葉は、com(ともに) pan(パン) y(人)という語源をもち、食事をともにする人という意味だそうです。



日本語にも「同じ釜の飯を食う」という表現があります。食べ物を分かち合っ

て共に過ごすのが人間関係の基本なのはどこの国でも共通ですね。給食センターでは、限られた条件の中で、なるべく地場産の材料を使い、行事食、郷土料理、国際理解など様々な献立で、豊かに食育を進められるように工夫してくださっています。12月14日には「南瓜と小豆のいとおぼろ汁」が登場しましたよ。冬至に食べる郷土食を洋風にアレンジした楽しい献立でした。

学校給食では、みんなで一緒に楽しく食事をしながら大切なことを学んでいきます。良く食べることは良く生きることです。カンパニーの意味を味わって食育の大切さを感じ取りたいものです。

## 家庭で年末年始の良い体験を

今年の冬休みも去年と同様に、初詣など人の集まる場所へ行く機会が減ることでしょう。その分、おうちで過ごすことが多くなると思います。

お正月を迎える準備を家族で一緒にする良い機会になるのではないのでしょうか。

お餅を丸めたら親指の付け根で押さえてへこませますか？ 小さな鏡餅を家のあちこちにお供えしますか？ お雑煮にきな粉を付けて食べますか？ 赤エイの煮ごりをおせち料理に入れますか？ などなど、宇陀独特、家庭独自の美しいお正月の習慣も、おうちの人から受け継いでほしいものです。



感染症に気を付けて冬休みを過ごし、3学期始業式に元気に会いましょう。



写真は、ならまちに伝わる小さな鏡餅「あたたき」です。平安時代の辞書にも載っている古い言葉が今も生きています。

わたくしの住む御杖村では年末に「良いお年を」とあいさつすると「お互いに」と返ってきます。英語でも「Merry Christmas.」に対しては「You too.」(あなたにもね)と返ってくるがありますね。お互いの幸せを願う素敵な言葉だと思います。来年こそはマスクを外した子供たちの笑顔がたくさん見られる良い年になりますように。

**良いお年をお迎えください**